

こうみょう

第 37 号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞しんらん聖人しょうにん著作しよく『一念多念文意いちねんたねんもんい』

今年も桜の季節がやってまいりました。何年か前に妻がこんなことを言いました。「あと何回桜が見られるんだろう」と。

時期として桜が咲くのは一年に一回です。いろいろな種類の桜が、数ヶ月にわたり咲きますが、まあ、春ですよ。

そうしますと、あと何回桜が見られるんだろうということは、あと何回春を迎えることができるんだろう、つまり、あと何年生きるることができるんだろう、ということに直結するのです。

数えるのはやめましょうね。

そう思うと、「桜」がタイトルにつく歌がじい〜んと心に響きます。はかなさや喜びや悲しみ、希望や光を感じることもあります。

サザンオールスターズの「桜、ひらり」という歌をご存知でしょうか。今年の一月一日に配信されましたが、この歌を発表した背景に、能登半島地震があると思われれます。ぜひ、YouTubeなどで検索して、ミュージックビデオをご覧くださいと思います。歌詞と一緒に流れる映像も観ていただきたいのです。

「突然、あれからしばらくは、生まれたこの場所が、嫌いになったよ」という何ともつらい歌詞は、地震を思いおこします。でも、「君よ次代に向けて、愛を謳って欲しい、今も君は生きている」という歌詞は未来への希望を抱かせます。桜に、未来への希望を感じます。



由布岳（大分県）です。

第 37 号

2025 年 4 月 1 日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田 9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

ホームページ：

<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>

第24回終活セミナー報告

2月8日(土)、第24回目となる「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は、お寺には講師陣含め24名、Zoomでの参加が6名いらっしゃいました。

今回のテーマは、「孤立しない・させない地域づくり」社会的処方について考えてみよう」といたし、江東区社会福祉協議会や実際に地域で活動されている方々にもお越しいただき、地域の取り組みについてお話していただきながら、ご参加の皆さんと「社会的処方」ということについて共有いたしました。初めて聞く言葉かもしれませんが、「社会的処方」とは「孤立という病を地域のつながりで治す方法」であり、一人ひとりの活動が誰かの「お薬」になることがあります。

お寺での終活セミナーでは、地域コミュニティの中で「安心して生きてゆける」ということにこだわってきました。今回は「孤立」ということに想いを寄せつつも、どちらかというと、誰もが「お薬」になれるということを考えてほしいと思いました。

それには、社会福祉協議会にご協力いただくのが一番です。

孤立の病に対する社会的処方としての事例や社協さんの取り組みについてお話しいただき、実際に地域でボランティア活動をしている方々からのお話もお聞きすることができて、自分にも何かできることがあるのではないかと思えました。

質疑応答の時間も、楽しく意見交換ができました。

住職の話は、なぜ今回「社会的処方」ということを取り上げたのか、利他という「いのち」の本来性などお話しいたしました。

お寺が社会的処方となり、そこに集う一人ひとりがリンクワーカー（人や地域、社会資源をつなげることで、人の幸せに貢献する人）として、または「お薬」としてつながって行ければいいなあと思っています。



次回は、5月17日(土)。テーマは、終活の王道「相続と遺言」です。

改めて基本に立ち返り、考えてみましょう。

アンケートをご紹介いたします。

◆参加の動機を教えてください

- ・社会的処方に興味がありました。
- ・お寺と社協の繋がりに興味がありました。

◆新たな発見や気づきがありましたか

- ・各々の意識を持つことによりリンクワーカーとして貢献活動ができると気づいた。
- ・市区町村のサービスや、その他もろもろの孤立対策があることを知りました。

- ・地域活動をされている方々のお話する姿が生き生きとしていて素敵だなと思いました。
- ・楽しくボランティアや活動を続ける秘訣。

◆これから実践しようと思っている「終活」があれば教えてください

- ・終活につながる、リハビリテーション栄養。
- ・家の中の不用品の整理。

◆全体を通しての感想など

- ・光明寺さんで様々なイベントがあり地域コミュニティの拠点になっていると改めて感じました。
- ・明るい雰囲気で見聞交換できる、とても良い場でした。

◆聞いてみたいテーマは？

- 1位 相続・遺言 同率1位 介護・認知症
- 3位 アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)

介護・認知症については範囲が広い為、次回にもう少し絞り込み、その次の回で介護・認知症をテーマに取り上げたいと思います。

春季彼岸会合同法要 勤修

2025年3月20日(祝日・彼岸お中日)、「春季彼岸会合同法要」をお勤めいたしました。新しいご縁があり、有り難いことです。光明寺には境内墓地が無いので、お彼岸にお寺にお参りに来る方は少なく、住職がご自宅のお内仏に参らせていただいております。それはとても大事なことで、これから続けてまいります。お寺にご参詣いただく機会を増やしたいと思っております。彼岸会合同法要は春季と秋季の年に2回、今後も続けてまいります。ぜひ、ご参詣ください。法話は、「法とは願い」というお話をいたしました。



東京大空襲追弔法要

3月10日は、東京大空襲により亡くなった方々の祥月命日ですので、お寺の玄関横にある「世溘多観音(せうんだかんのん)」前にて、14時より追弔法要をお勤めいたしました。この観音様は、戦災の慰霊観音として地域の方より千田町会へ寄進されたと聞いております。今は、お寺で管理しております。いのちを大切にできる世界を願います。



東日本大震災追弔法要

3月11日14時46分、東日本大震災追弔法要「勿忘の鐘(わすれなのかね)」をお勤めいたしました。

十回鐘をついている間、一緒に被災された地域に心を寄せ、あの日を想いました。みんな、サザンオールスターズの「桜、ひらり」のミュージックビデオを観て、少し住職より想うことをお話いたしました。「桜、希望を与えて今も匂ってきます」が響きます。



坊守のつばや記

光明寺坊守の小林依子(いくこ)です。真宗大谷派で坊守というのは住職の配偶者を指します。住職の妻です。ご縁があった住職と結婚して三十二年が経ちます。この寺報『こうみよう』に登場するのは初めてですが、日頃思っていることをつれづれに書いていこうと思います。皆様に気楽に読んでいただけたら嬉しいです。

今回はなかなか一度では呼んでいただけない私の名前(依子)について書きます。名前の由来を両親に尋ねると「東京オリンピックの陸上選手・依田郁子(よだいくこ)からもらったんだよ」と。でも何故か郁子ではなく、依子に。

そのあたりはあまり明確ではありません。間違えてしまったのでしょうか。小さい頃から、「いくこ」ではなく「よりこ」と呼ばれていましたが、どこか特別な感じがして「依子(いくこ)」という名前が好きです。お経の中にも『依』という字は沢山出てきます。もしかして、これもご縁なのかと不思議な気持ちがあります。

これからも住職と力を合わせて頑張ります。特別な用事がなくても是非、お寺に足を運んでみてください。



花まつり法要

お釈迦さまは4月8日にお生まれになつたと、日本には伝わっています。

お釈迦さまのご誕生と親鸞聖人のご誕生、そして新たな仏弟子の誕生をご縁に、法要をお勤めいたします。
ぜひお参りください。

日時：4月6日(日) 14時より

法話：光明寺住職(全体で75分ほど)

参加費：無料

永代経法要



亡き方に憶い^{おも}を寄せることをご縁として、今を生きる私たちが教えに出遇う法要です。
どなた様も、ぜひ、ご参詣ください。

※ご希望の方はお寺へご連絡ください。

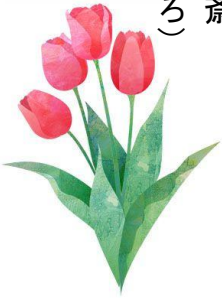
日時：5月11日(日曜日) 午後1時

日程：法要・法話・お齋

(散会は3時ごろ)

法話：光明寺住職

参加費：お志にて



写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日：4月23日・5月21日・6月18日

水曜日の14時～17時まで開けていますので、出入り自由です。

参加費：無料

「正信偈」を写写しますので、筆ペン又は書道道具をご持参ください。

光明寺同朋の会(法話の会)

親鸞聖人のお弟子さんが書き記された『歎異抄』とはどのような教えなのでしょう。少しずつですが、学んでまいります。

開催日：4月26日・5月24日・6月28日

土曜日の14時～16時ころまで

法話：光明寺住職

参加費：500円(テキスト代別250円)

Zoom：会議ID：953 5707 6868

パスワード：684089

※Zoomを利用することにより、今まで通りお寺で参加する場合と、自宅からインターネットを利用しての参加が可能になりました。詳細はお問い合わせください。

第25回終活セミナー

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の人生に向き合い、心配なことを整理し、今のいのちを安心して生きて往くための活動です。お寺で、一緒に考えましょう。

開催日：5月17日(土) 14時～16時

テーマ：「相続と遺言」

講師：アルファ行政書士事務所(江東区)

代表行政書士 和田圭介さん

マニユライフ生命保険(株)

藤山正行さん

参加費：無料

終活の王道とも言える「相続と遺言」。基本に立ち返り、一緒に学びましょう。

ご講師プロフィール

和田圭介さん

代表行政書士。相続・遺言コンサルタント。

葛飾区出身。趣味は神社仏閣巡り。

藤山正行さん

住職と小中学校の同級生。マニユライフ生命保険(株)にてファイナンシャルプランナーとして活躍。主に事業承継、相続、介護年金を中心にして保険を元にしたファイナンシャル活動を行う。